



お ばら よしおき
小原 仁興 議員

目標額1億円は堅持しているか

町長 堅持されています

ふるさと納税について

質問

町

長は令和3年にふるさと納税の目標額を1億円と公言しました。この目標額は今も堅持されているものなのか伺います。

町長

堅持されています。現在そういう進め方をしているところです。

再質問

目標は堅持されているとのことですが、目標に向かってやりますよと職員にアナウンスしたということでしょうか。

町長

仰るとおりです。

再質問

本年度のふるさと納税は現時点でいくらなのでしょうか、現下の状況から町長の所感があれば併せて伺います。

町長

令和4年8月時点で803件1,929万5,000円の寄附をいただ

います。今年度におきましては、PRサイトの更新などプロモーション活動の充実と下川町商工会と連携しながら新たな返礼品開発を鋭意進めています。

再質問

企業とのコラボ商品を考えているようですがもう少し詳しく答弁してください。

政策推進課長

今まで単品として提供していた返礼品の特色を生かしたセットとして一緒に出していくよう、食べ比べ的なものも含めて現在企画・検討しているところです。

再質問

近年、企業のふるさと納税の意識も大変高まっています。その町の特徴に対して寄附される、そのようなことが多く見受けられるようになりまして。そこで、本町のふるさと納税を選んでいただく売りは何か伺います。

町長

現

在ホームページを中心にPRを進めているところです。本町の特徴である循環型森林経営を基盤に、森林バイオマスの取り組みやSDGsの取り組みを中心に引き続き企業等にPRするなど汗をかきたいと思えます。

再質問

ホームページでPRしていくということでした。ホームページのどこを見れば下川町の売りだとわかるのでしょうか。

政策推進課長

下川の売りとしては循環型森林経営を基盤に森林バイオマスの取り組みやSDGsの取り組みを中心にPRをしたいと思っておりますが、企業によってピットリと理解を得ることは難しいことから、下川町としては下川版SDGsの7つのありたい姿につながる事業にご支援いただきたいということですので。

再質問

北海道の企業版ふるさと納税額は38億円、日本全体で225億円ふるさと納税金額が動いています。町長の1億円の達成目標は絵空事ではなく達成可能な金額であると思います。そこで企業版ふるさと納税を促す中で、下川町循環型森林経営について説明する資料が入っているのでしょうか。

政策推進課長

企業版ふるさと納税については、寄附を募集する事業については簡潔に表現されていますが、下川町の取り組みについては、ホームページ内のリンクでご覧になっていただく形になります。

町長

1億円に向けて様々なシステム、あるいは情報発信、このへんに努めたいと思いますのでご理解いただきたいと思います。